

2024年度 新人研修計画

研修目的：チームの一員としての役割を認識できる知識、能力を養う

済生会小樽病院 2024.4.1

研修	研修予定日	時間	研修目標	備考
新人看護職員入職時研修 1. 看護職としての基本的姿勢と態度・管理 2. 技術演習 環境調整、食事援助①（介助、口腔ケア）、活動・休息援助、清潔・衣生活援助、感染予防、症状・生体機能管理技術①、与薬の技術①（静脈注射Ⅰ、筋肉・皮下注射、麻薬、血液製剤） 3. 電子カルテ、看護記録	4月1日（月） 2日（火）～12日（金）	1.0日間（病院全体） 8.5日間	1. 看護職員としての責任、協調性、チームワークの重要性、マナーを知識としてわかる 2. 看護部の概要、活動を知識としてわかる 3. 基本的看護技術を知識としてわかり、演習でできる	
技術演習 症状・生体機能管理技術② （採血、血糖測定） 与薬の技術②（静脈注射研修Ⅱ）	4月17日（水）	1.0日	① 基本的看護技術を知識としてわかり、演習でできる ② 患者の状態を演習で報告・連絡・相談できる	
技術演習 食事援助技術②（懸濁法） 呼吸・循環を整える技術① （酸素療法、吸引）	4月24日（水）	1.0日	① 経管栄養や胃管挿入が知識としてわかり、演習でできる ② 酸素投与や吸引の技術が知識としてわかり演習でできる	
看護記録 看護必要度	5月22日（水）	1.0日	① 看護記録記載に準じてSOAPで正しくかける ② 看護必要度について知識としてわかり、演習で記録することができる	
看護過程研修 ① 基礎、データベース ② アセスメント ③ 看護過程の展開	5月15日（水） 7月24日（水） 10月9日（水）	0.5日 1.0日 1.0日	看護過程を展開する事ができる ① 看護過程の基礎とデータベースについて学ぶ ② 得られた情報（データベース）からアセスメントし問題点を抽出する方法を学ぶことができ、問題点の優先順位を考慮することができる ③ 看護過程の一連の展開ができ、初期の標準看護計画を立案することができる	
技術演習 排泄援助技術	5月29日（水）	1.0日	基本的看護技術を知識としてわかり、演習で実践できる	
技術演習 症状・生体機能管理技術③ （心電図モニター）（DC含む）	6月12日（火）	0.5日 PM	心電図モニター・DCの基本的操作と留意点がわかり、演習で実施できる	
技術演習 事例検討	6月26日（水）	1.0日	① 事例を通して、患者に合わせた基本技術を考え、演習でできる ② 事例を通して、患者に合わせた報告を考え、演習で実施できる	
技術演習 輸液ポンプ・シリンジポンプ	7月9日（火）	0.5日 PM	輸液ポンプ・シリンジポンプについて知識としてわかり、演習で操作することができる	
技術演習 安全確保の技術	8月7日（木）	0.5日 AM	日常的に潜む危険を予測し対策を考慮することができる	
認知症ケア 退院支援	8月21日（水）	1.0日	認知症ケアの基礎知識を知識としてわかる 退院支援の基礎知識を知識としてわかる	
技術演習 創傷管理	8月28日（水）	1.0日	基本的な看護技術を知識としてわかり、演習でできる ① 褥瘡の発生機序・予防ケアが理解できる ② 脆弱な皮膚の特徴を理解し、予防的スキンケア・治療的スキンケアが理解できる ③ 適切なポジショニングについて学び、演習で実施できる 医療用テープの特徴・使用方法を理解できる	
メンバーシップ	9月11日（水）	1.0日	① メンバーとしての自己の役割を知識としてわかる ② メンバーとして求められる行動を考え自己の課題が明確になる ③ 事例を通し、多重課題から優先順位を考え安全な看護実践の演習ができる	リフレッシュ
緩和ケア	10月23日（水）	0.5日 AM	緩和ケアの基礎知識を知識としてわかる ① 痛みや苦痛のある患者について理解することができ、看護実践方法がわかる ② 看取りについて知ることができる	
技術演習 救命救急処置技術	10月30日（水）	1.0日	① 急変対応の基礎を知識としてわかり、演習でできる ② 急変対応の緊急報告がSBARを活用し演習で実施できる	
技術演習 呼吸・循環を整える技術② （人工呼吸器について）	11月21日（木）	1.0日	① 人工呼吸器について知識でわかり、操作方法を演習で体験できる ② 人工呼吸器アラーム音の意味を理解し、人工呼吸器装着中の患者の看護のポイントがわかる	

※技術演習領域：1. 環境調整技術 2. 食事援助技術 3. 排泄援助技術 4. 活動・休息援助技術 5. 生活・衣生活援助技術 6. 呼吸・循環を整える技術 7. 創傷管理技術 8. 与薬の技術 9. 救命救急処置技術
10. 症状・生態観察機能管理技術 11. 苦痛の緩和・安楽確保の技術 12. 感染予防技術 13. 安全確保の技術 14. 死亡時のケアに関する技術 ※ナーシングサポート（e-ラーニングは研修時視聴）